



AA日本ニュースレター

No.172

■ 卓上版日めくりカレンダー『今日を新たに』の在庫が700冊を切りました。

アルコールに問題のない(かな?)友人にも好評な、毎年使えるカレンダーです。

この本はJSOのテーブルにも置き、お昼を食べながら読んでいます。その日のページを読んで思いをはせ、…と、何度も読み返すことが多いので、このスタイルが大変気に入っています。もちろん、自宅用、ギフト用、合わせて5冊を購入しました。アルコールに問題のない(かな?)友人へのプレゼントにも好評でした。

さて、今日も出勤したら一番にその日のページをセットします。JSOに来てくださった皆さまと分かち合えることを祈りつつ、右の写真(在庫700冊)が、早く皆さまのお手元に届くことを祈りつつ。

JSO 村田



卓上版日めくりカレンダー『今日を新たに』

価格2,000円

(通常版と同じB6サイズ、366頁+α)

通常版『今日を新たに』と内容は同じですが、卓上型日めくりカレンダースタイルです。

皆さまのミーティングの場に、また、それぞれ机の上に、毎日のご確認や、振り返りに、どうぞ末永くご活用ください。

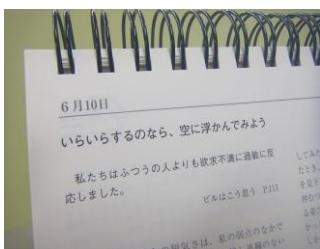


ご注文は、各地域のセントラルオフィス、またはJSOへ。電話またはFAXにて承ります。また、2015年3月より各地域セントラルオフィスへの委託頒布を開始しております。各地域のAAイベント等々の際には、是非お声掛けください。

6月10日のページを紹介いたします。

いらいらするのなら、空に浮かんでみよう

私たちはふつうの人よりも欲求不満に過敏に反応しました。



人と接するときの短気さは、私の弱点のなかでも筆頭にあげられるものだ。追い越し車線のない道路で、のろのろした車の後ろについたときや、レストランで勘定を待たされたときなど、

もう気が狂いそうになる。

いまは神に落ち着きを求めているが、以前は神をも及ばぬ早わざですぐに爆発した。そのようなことを何度も繰り返すうち、良い考えが浮かんだ。

※以降は、どうぞ書籍にてご確認ください。日めくりカレンダー6月10日のページ、『今日を新たに』の162ページ、『ビルはこう思う』の111ページ、より引用。

■ 利用者の声

書籍が苦手な仲間にもすばらしい贈り物です。

千歳グループ ミホ

AAに繋がったばかりの頃は、毎日必死で書籍をめくっては飲まない日々巻き起こる困難の解決を探していました。飲まなくても苦しい日々。不思議とふっと開いたページに解決が書かれており、AAの霊性を肌と感じました。

最近、自分のソーバーに胡坐をかき、忙しさにかまけて以前ほど熱心に読まなくなった書籍でしたが、日めくりカレンダーになったことで毎日目にし、今日一日の自分のプログラムを振り返り、かつての自分に思いをはせ、襟を正しております。改めてAAのおかげで今があることを実感する毎日です。まさに私が今日を新たに生きる為に、今日も私の机の上からAAを伝えてくれています。

バースデーには色紙としておめでとうの気持ちがこめられ手渡されています。40周年に行けなかった仲間に「45周年は一緒に行こう!!」という思いをこめて手渡されます。書籍が苦手な仲間にもすばらしい贈り物です。さまざまな人の思いを背負って、大役を担っている日めくりカレンダーに感謝です。

使える書籍です。

埼玉 AEG

ミーティングで『今日を新たに』を使用する機会があり、通常の書籍はすでに持っていましたので、改めて購入することも無いだろうと思っていた折り、限定1500冊！という宣伝に乗せられ、横浜の会場で手に入れました。

しばらくは置きっぱなしでしたが、先日、置き方によっては意外と読みやすいことに気が付きました。この本は置きながら眺めるようにして読むことができます。自宅では書籍をほとんど読まない私には、ちょうど良いスタイルだったと思います。

今では日付の確認をするだけではなく、自分自身を振り返ることができる、使える書籍となっています。

時も場所も越えたAAメンバーの「どこでもドア」

セイルオフグループ 遙美(ゆみ)

『今日を新たに』は毎日読んでいましたが、日めくりは便利で良いですね。いつも目に入る机上とトイレに置いてあります。

最初につなごうとした故郷のグループはいつも2～5人ほどのミーティングでした。他所を知らず「AAとはそういうもの。」と思い込んでいたある日、遂に一人ミーティングという事態が！寂しい、怖い。書籍を片っ端から読んでみても気持ちはザワザワ。帰宅したら即、仲間に愚痴の電話。その時に教えられたのです。「その時間に日本中、世界中で一緒にAAミーティングをしていたよ。会場のドアを開けたら一人じゃ無いよ。」日本中？世界中？一緒？それは、AAの広さを知る切っ掛けでした。

あれから十数年。AA40周年の会場でやっと発刊に至った日めくりを手に入れた『今日を新たに』はAAの書籍の凝縮だ。」と言った仲間を思いました。療養中の彼にお土産にしよう。ところが彼はとっくにメッセージ先・主治医・行政…様々に配る手はずを整えていました。思いは同じ。「まだ出会っていない仲間達へ」「日めくり」を捲るとき、私達はAAプログラムという集合場所に運ばれます。故郷の仲間、普段会えない仲間、ビル、ボブ…全員集合。ここまで書いて思いました。これは時も場所も越えたAAメンバーの「どこでもドア」みたいですね。あなたも一緒に開いてみませんか。

母は字が小さいと文句を言いながらも

東京 ケムパス

日めくりカレンダーって2月の記念集会で全て売り切ったと思っていました。まだ残っているとは、しかも在庫700冊って…、JSOに聞いてみると「今年一杯40周年です。あと残り半年、よろしくお願ひします」とのこと。…半分、納得です。誕プレに使うことにします。母は字が小さいと文句を言いながらも使ってくれているようです。

■第20回評議会を終えて

評議会担当理事 星

今回の評議会は、第20回と1996年からGSMが評議会として開催されるようになってから20年目の節目となるものでした。そこで、改めて毎年の評議会報告書に必ず載っている「なぜ、評議会が必要なのか？」(昨年の報告書では11ページにありました)を最初に朗読してもらうことにしました。色々と挨拶することを考えたりしましたが、やはりこの文章がもっとも評議会の意義を端的に表していると感じたからです。

この文章に書かれてあるように、私たちのサービスは「まだ苦しんでいるアルコールにメッセージを届けることにある」と思うのです。そういう意味では、先日開催された40周年記念集会のテーマ、「まだ出会っていない仲間たちへ」と同じ方向を見ているのではないのでしょうか？どういう形でそれを実現するかについて意見のやりとりをしているだけだと思います。その意味では、ここで最も良く「みんなの良心の分かち合い」がなされていると感じます。

今回の評議会では、分科会でいったん決定したものが全体会議で動議が出て、結局逆の結論が全体の良心として決まったことがあったのが印象的でした。少数意見の尊重ということが目に見える形で実現された、と感じた出来事でした。

個人的には、今回の評議会では意見が対立することが多くなるかもしれないと心配していたのですが、実際にはその思いは誰も抱いたようで、協力できるところは協力していこう、という本来の意味での良心が働いてくれたような気がします。

今回も相変わらず大勢の(おそらく15名前後の)ボランティアの方が評議会事務局メンバーとして評議会の進行をお手伝いしてくれました。毎年感謝することなのですが、今年もまた感謝したいと思っています。評議会といういわば華やかな場で、こういう裏方を進んで務めてくださる方がいてくれてこそ、評議会も進んでいることに思いをなさっていただければ、と希望いたします。

評議会を終えて

第1分科会議長 大迫

評議会は年に一度AAグループの良心が結集して日本のAA全体に関わる事柄が討議され将来への方向性が示されます。今回は全国から集まった27の議案から、NPO法人AAのアル法ネット賛同の撤回など13の決議内容が常任理事会に勧告され、3つの決議内容が提案として示されました。AAの伝統と概念の精神に従い、AAの将来のことを考え真剣に熱く議論し様々な意見を皆で尊重しながら分かちあう貴重な経験をさせて頂けたことを感謝しています。そしてこのAAの全体サービス機構の民主的な仕組みの素晴らしさをあらためて実感しました。

参加者は構成メンバーとして全国7地域から選出された評議員が

19名、常任理事8名、JSOスタッフ2名、ワールドサービスミーティング評議員1名の計30名。そして裏方としてこの評議会を支えてくれた事務局ボランティアの皆さんの12名。事務局メンバーは議事録作成のほか評議会メンバーが議論や分かち合いに集中できるよう3日間献身的に素晴らしい働きをして頂き感謝しています。

また昨年4月よりA類(ノンアルコール)常任理事を引き受けてくださった法務省保護観察所の荒木さん、同じく今年1月より常任理事を引き受けてくださった成増厚生病院の後藤先生もそれぞれご専門の経験からの広い知見と私達AAに対する信頼と情熱を持って参加して下さったこと心よりお礼申し上げます。今後ともよろしくお願いたします。

さて、あれから3か月が経ち先日厚さ1cmほどの報告書が全国の600以上のグループの手元に届きました。私の地元関東甲信越地域ではいよいよ6月から各地区や地区合同で評議会報告会が10箇所で開催されます。今年は1月下旬に地域集会と別に初の試みで「グループの良心集会」と銘打って評議会の直前に4か所のべ評議会議題に対するグループからの意見付託会を開催し180グループ以上が参加しメンバーの関心の高さを感じています。評議会の内容報告はもちろんですが評議会でも感じたサービスの喜びを伝え、今年の全体の活動テーマのとおりサービスの輪をどんどん広げていきたいと思っています。

評議会は楽しい！

第2分科会議長 新田

2015年2月7日(土)から9日(月)までの3日間、第20回AA日本評議会が開催されました。今年には日本のAAの40周年、AA日本評議会が設置されて20年、成人に達した記念すべき年であり、そのタイミングで評議員の役割をさせていただけたのは、本当に光栄です。

私を評議員として選出した関東甲信越地域では、評議会に先立ち、1月下旬に4か所で良心集会を開催し、評議員が各グループの良心の付託を受けました。私が所属した第2分科会では、内容的に相反する議案が提案されており、付託された良心についても様々な意見がありました。私達の目的はひとつです。日本のAAを二分するようなことがあってはなりません。評議会当日まで悩み続けました。

そんな状況で迎えた評議会当日。1日目の全体会議では会場の雰囲気にもまれ、緊張しっぱなしでしたが、後期評議員や先行く仲間を支えられ、やっと発言ができました。

その夜は、深夜までグループの良心をどう評議会で発言するべきかベッドの上で葛藤していました。頭の中にあったのは、バーナード・スミス氏の『何故評議会が必要なのか？』でした。今苦しんでいるアルコールのため、これからやってくる。次世代のアルコールのために、今、私達ができることは…

2日目。午前中は朝から少人数に分かれての分科会です。第2

分科会は広報・病設・矯正です。これまでのサービス経験が役に立ちました。本領発揮です(笑)。初日は借りてきた猫のようだった私ですが、分科会の時は発言も活発にできました。

2日目の午後から3日目の全体会議。午前中の勢いはどこに…というくらい、また雰囲気にも飲まれてしまいましたが、初日とは異なり、グループから付託された責任を果たすべく、全力を注ぐことができました。常に6割の行動を心がけているのですが(笑)。

評議会に参加して感じたことは「評議会は楽しい！」です。この楽しさは経験しないとわかりません。評議員は決してハードルは高くありませんので、一生のうち2年間しか経験できない役割ですが、是非、AAメンバーでこの楽しさを分かち合しましょう。

伝統を重んじ、一体性を保って行けるように

第3分科会議長 松岡

昨年、第19回評議会に中四国前期評議員代理として初めて参加させて参加させて頂き、今回で2回目の参加になります。昨年は、ただ参加しているだけで話し合っている内容などあまり理解できないまま終わったように思います。今回は昨年理解できなかった事等を出来るだけ理解したいと言う思いで参加させて頂きました。今回参加させて頂き、本来AAの形は逆三角形であるはずが、今、形が崩れてきているように思いました。

まず、40周年記念集会の主催について、第19回評議会で、ある評議員が「主催は法人ではなくAAではないのか」と言う質問をし、その時の担当常任理事が、「会場をお借りしました」と回答したことを記憶しています。初めての評議会の参加でしたが少し乱暴な回答だなと思いました。主催については今回の評議会で、一応の決着を見ましたが、それまでの経緯や説明などがなくまま常任理事会が決めてしまったように感じました。

次に、内閣府よりアルコール健康障害対策関係者会議でのプレゼンテーション依頼について、「プレゼンテーションすることとしましたこと、予めご報告させていただきます」と各グループに報告がありました。このことはアル法ネットとは直接関係していないことかもしれませんが、第20回評議会で「アル法ネットの賛同団体から脱退する」となった以上、もっと丁寧な報告が必要だったのではないかと思います。そもそもアル法ネットに賛同する経緯も不鮮明さを感じており、非常に危機感を覚えました。

いつのBOX916か忘れてましたが、「評議会はメンバー一人一人の声を汲み上げているか」と言う記事を読んだとき、評議員として自分出来るだけの事をしているのか、考える機会をいただきました。各地域、地区、メンバー、それぞれ日々今苦しんでいるまだAAを知らない仲間達にメッセージを運ぶ為に邁進しています。その活動がスムーズに行えるようにする為にステップに添った生き方を実践し、伝統を重んじ仲間を思い一体性を保って行かないと「AAって良い所だったのに」となると思います。自分たちが回復して行く道を自分たちで守り整えて行くことを、私は大切にしていきたいと思いま

す。



第20回評議会で今のAA日本の問題がある程度あからさまになったように思います。AA全体と、常任理事会やNPO法人AAは、良い協力関係を保つ必要があると思います。伝統を重んじ、一体

性を保って行けるようにして行かなければならないと思います。来年第21回評議会で、後期評議員として参加する予定です、今年よりももう少し中に入って考え、質問など出来るよう勉強して参加したいと思っています。ありがとうございました。

AAの中での繰り返し—私たちにはそれが必要

(Box459 vol.53 No.2 April/May 2007 より翻訳し転載)

あるメンバーは「我々のグループは人少ない田舎にあるから、お互いの物語を暗記してしまっているよ。ミーティングは同じ顔ぶれが同じ話を何度も繰り返すからね」と語る。別のメンバーは「ニューカマーが来たら、いつでもステップ1に戻る」と書き記している。

ある地区委員会のメンバーは「地域集会は、ほとんど毎回、同じ報告や問題が取り上げられています」と述べている。それはまるで、繰り返しに対する苦情が繰り返されているかのよう。

しかし、経験の長いメンバーは「これは必要なことです」と説明する。「輪番制は、少なくとも2年に1度、同じことの繰り返しを必要とさせるのです。地方フォーラムに参加するメンバーの75～80%は初めての参加で、残りの私たちにとっては聞き飽きたようなことでも、彼らにとってはすべて新しいことだからです。」

「そして毎回の評議会でも、評議員の半分は新人です。ですから、定期的に同じ意見が出され、討議され、同じ問題が繰り返し会議室の床に投げ捨てられます。もちろん、新しい議案も出されますが…」

共同創始者のビル・Wは、常に新しいメンバーが入り続けるAAでメッセージを伝えるためには、繰り返しが必要であることを認識していました。ビルはその談話や著作、特にAA グレープバイン誌の多くの記事で、同じ話を繰り返しました。

実際のところ、繰り返しは私たちを飲まない生き方に導くものとなっています。まず始めに、多くのメンバーの飲まない生き方のスタートに繰り返しがあります。かつては飲んでいただけども、いまは目を輝かせ、笑みをこぼし、幸福な人生を送っている人たち、その最初の笑みは12番目のステップを実行している時に見つけることができ

ます。そしてその後もミーティングで何度も目にするようになります。

次に、初めて参加するメンバーの話の中に、経験の繰り返しがありますね。彼らが同じ話をするには決してありませんが、彼らの感じた痛み、自己嫌悪、今度こそ大丈夫というやっばちな思い、これらを経て最後にAAにつながる、という基本的な経験を、彼らは(人が違っても)繰り返しています。この終わりのない経験談は、自分も同じだという思いを引き起こし、ついには私たちの否認を突き破って、変わろうとする意欲を起こさせてくれます。

3つ目に、AAプログラムでの繰り返し。私たちは「どうやればうまくいくのか」を何百回と聞かされます。私たちはステップを暗記するまで繰り返し唱え、ひとつずつやり通していき、また最初から始め、そしてもう一度と…。

また、私たちは平安の祈りをミーティングだけでなく、毎日の生活でもその助けとして何度となく唱え続けます。また、「今日一日」などの決まり文句を何度耳にしたことでしょうか。これらは繰り返されることで、ときにはジョークに使われるほど身近なものとなります。これによって私たちは飲まない生き方が与えられ、そして継続していく知恵をいただくのです。

最後に、自分にはAAが必要だと思い知らせてくれる、私たちが犯す失敗の繰り返しがあります。アルコールクである私たちは、発作的な飲酒のせいで破壊的な結果を引き起こすことがよくありましたね。私たちは飲む酒の種類や飲み方を変え、今度こそは結果を変えられるともう一度試して、同じ結果を引き起こしました。さらにまた、同じことを繰り返しました。私たちは、自分が納得するまで同じ失敗を何度も繰り返さなくてはなりません。このようにして、私たちの人生には、飲まない生き方を得たアルコールクとしての傾向が生まれたのです。

12の伝統を生んだのは何度も繰り返されたグループの失敗であったということ、どうか思い出してください。そして同じように、これまでのあいだアルコールクス・アノニマスを強力で健全なものに保ってきたのは、習性となるほどまでに何度も繰り返された12のステップと12の伝統の実践であることも。

■『ある女性アルコールクへの手紙』頒布終了

出版担当常任理事 重黒木

パンフレット『ある女性アルコールクへの手紙』は、原本の絶版に伴い、日本でも現在の在庫をもって頒布を終了することとなりました。よろしくご承知おきください。

編集：ニューズレター編集委員会・発行：NPO法人AA日本ゼネラルサービス

〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル 3F Tel:03-3590-5377 Fax:03-3590-5419

<http://www.aajapan.org> iso-1@fol.hi-ho.ne.jp

(月～金)10:00～18:00 (土・日・祝) 休